

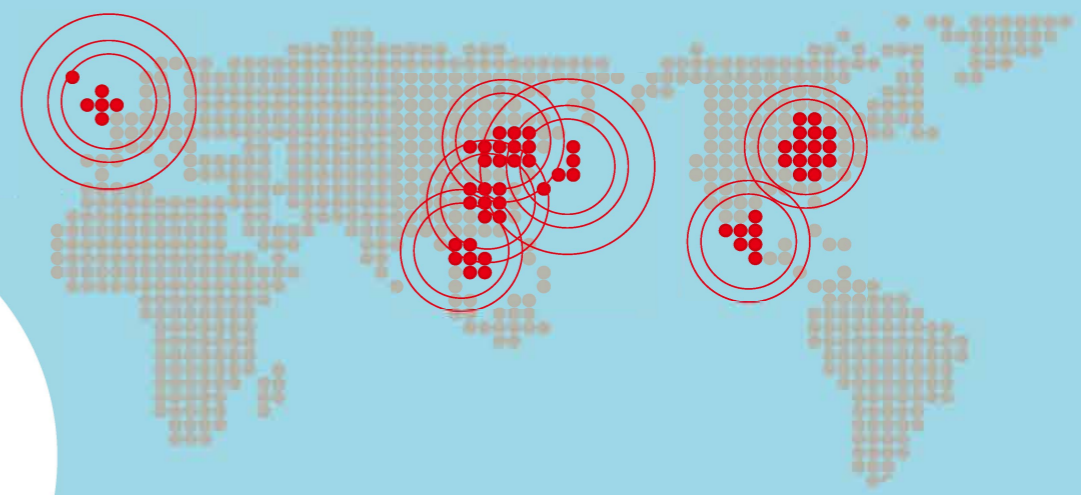
RYOBI

リョービグループ
環境データ集

2017



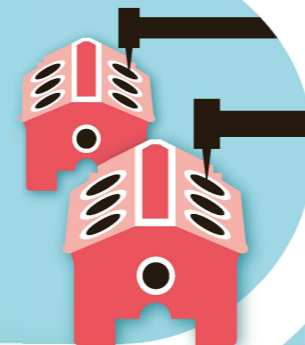
リョービグループは、くらしの身近なところで、
人々のゆとりと豊かさを支えています。



DIE CASTINGS

世界トップクラスのダイカストメーカー。シリンダーブロックやトランスミッションケースなどの自動車部品をはじめ、さまざまなダイカスト製品を提供しています。

ダイカスト



POWER TOOLS



パワーツール

本格的な住まいづくりからホビーまで、世界中のプロ・アマチュアに愛用されている電動工具。美しい庭づくりのための園芸用機器など、多彩なパワーツールで、「創造するよろこび」をお手伝いしています。

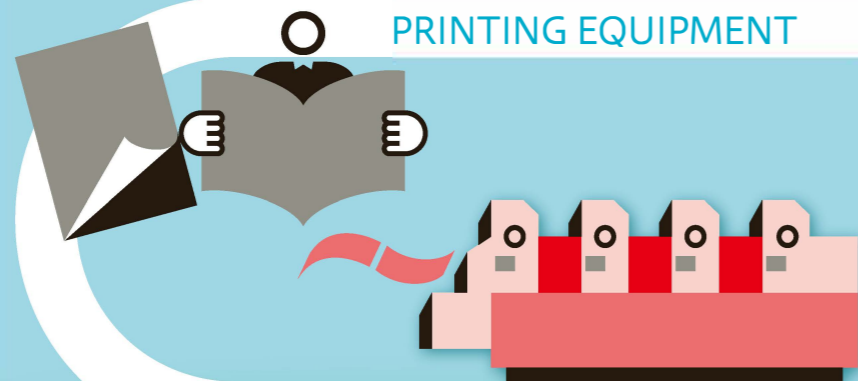
BUILDERS' HARDWARE

ドアを静かに確実に閉めるドアクローザ。ホテルなどの室温を快適に調節する空調制御システム。安全で快適な住まいやオフィスを実現する建築用品を提供しています。

建築用品



PRINTING EQUIPMENT



印刷機器

カタログ、ポスター、雑誌、パッケージなど、美しい印刷物をスピーディーに仕上げる高精度、多機能のオフセット印刷機。世界中のお客様に独創的で高品質な印刷機やサービスを提供しています。

CONTENTS

P02 環境マネジメント

P04 環境パフォーマンスデータ

報告の対象期間：2016年4月～2017年3月(2016年度)
※一部、2017年4月以降の最新情報を記載

グループ
社員数
8,915
人

15 社、
20 拠点で
ISO 14001を
取得

※2017年3月31日現在

独自の環境方針のもと、環境への取り組みを着実に進めています

リョービ環境方針

リョービは、環境マネジメントシステムを構築し、事業活動、製品およびサービスによる環境への影響が大きい項目に関して、技術的および経済的に可能な範囲で環境目標を設定、見直しを行い継続的な改善をはかります。また、これらの活動を通じて経営計画の達成をはかるとともに、社会の発展に貢献します。

- 1 ISO 14001:2015規格要求事項に沿った規定を制定し、実行する。
- 2 環境関連の法律、規制、協定又は関連する組織が同意する環境関連要求事項を順守し、環境汚染を予防する。
- 3 地球温暖化防止、省エネルギー、廃棄物の減量化及び再資源化に取り組む。
- 4 緊急時に廃油、灯油、重油、廃液、薬品、化学物質等が環境に著しい影響を及ぼさないよう予防処置に努め、緊急対応訓練を行う。
- 5 全構成員の環境に対する意識の向上を図るため、教育・啓蒙活動を行う。
- 6 環境保全活動を通じて、地域社会に貢献する。
- 7 この環境方針は、全構成員に周知させるとともに、一般の人にも公開する。

※リョービとは、グループ会社を含めて次の事業所をいう。
 ・リョービ株式会社(本社、東京支社、大阪支店、名古屋営業所、広島工場、広島東工場、静岡工場、府中物流センター、御調第1物流センター、御調第2物流センター)
 ・リョービミラサカ株式会社・リョービミツギ株式会社・株式会社東京軽合金製作所・生野株式会社
 ・リョービ販売株式会社(本社、中部営業部、名古屋営業所、関東営業部、東京北営業所、関西営業部、高槻営業所)
 ・リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社(本社、本社工場、栗柄工場、東日本支社、中日本支社、西日本支社)
 ・旭産業株式会社・リョービ開発株式会社(庄原カントリークラブ)

環境負荷低減目標

リョービグループでは、環境負荷低減目標として以下の内容について目標達成に向け、グループ全体で取り組んでいます。

- CO₂排出量の削減** ・2021年3月までにCO₂排出量生産高原単位を2013年度比で、13%削減する。
 ・CO₂排出量生産高原単位を前年度比1%削減する。(国内海外共通の目標)

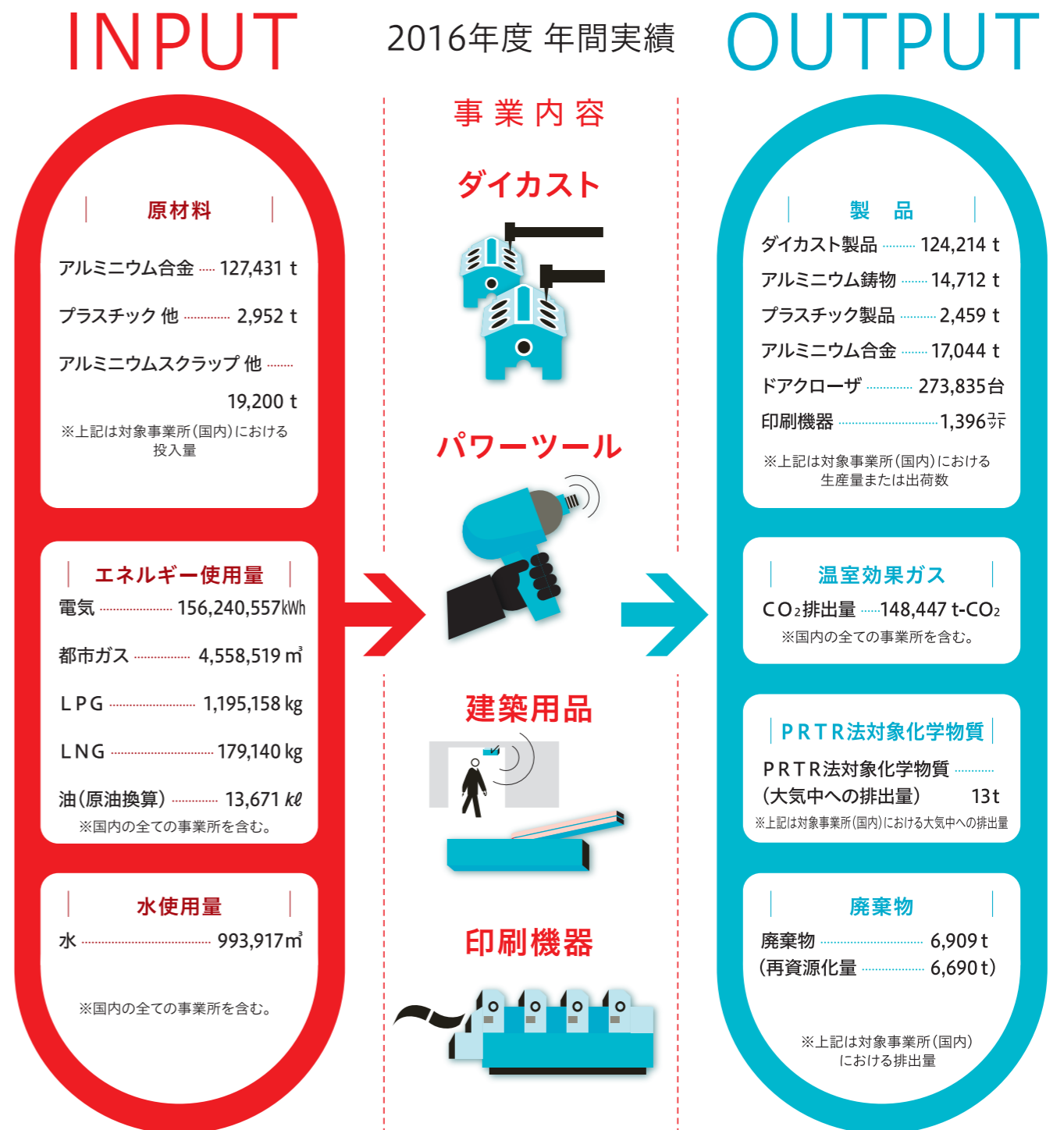
- 廃棄物の削減** ・2021年3月までにリサイクル率を99.0%以上にする。



マテリアルバランス

生産工程における廃棄部分のほとんどを再利用するなど、投入と排出のバランスを徹底管理。

リョービグループでは、必要なエネルギーや資源の投入量(INPUT)と、事業活動から発生するCO₂や廃棄物の排出量(OUTPUT)を把握し、バランスを考えながら、より効果的な環境負荷低減への取り組み、環境に配慮した事業活動を推進していきたいと考えています。また、ダイカスト製品の原材料であるアルミニウムはリサイクル性に優れており、生産工程において発生するバリなどの廃棄部分のほとんどを社内で再溶解し、再利用しています。

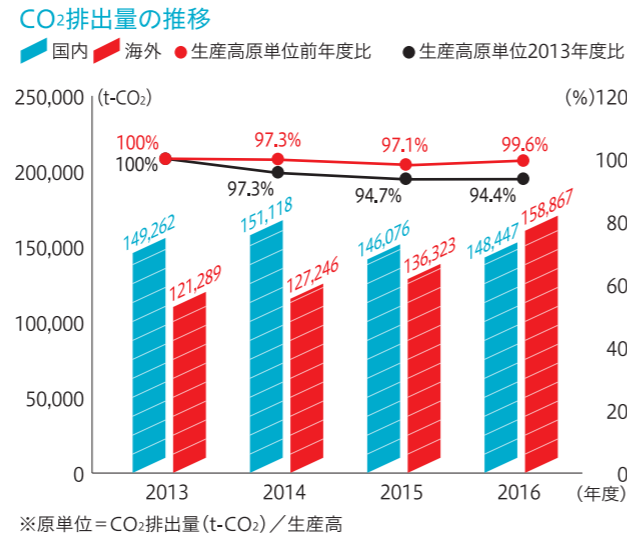


環境に配慮した製造を推進。各分野で成果をあげています

CO₂削減への取り組み

さまざまな省エネルギー施策の実施により、CO₂排出量生産高原単位を2013年度比94.4% (5.6%削減)、前年度比99.6% (0.4%削減) となりました。

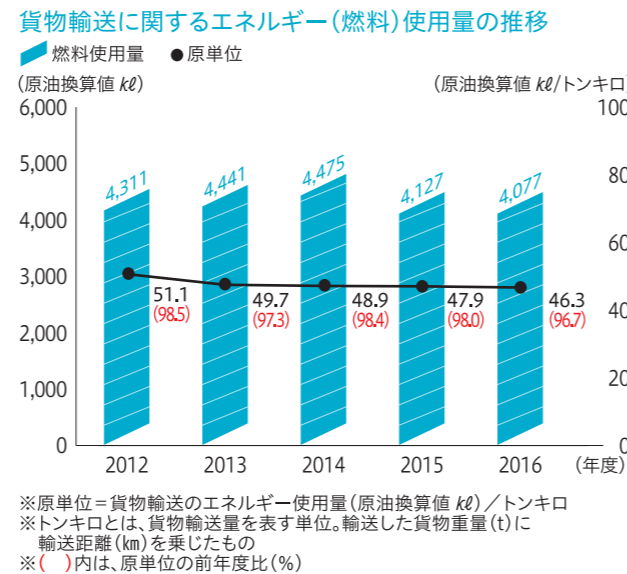
「2021年3月までにCO₂排出量生産高原単位を2013年度比で、13%削減する」および「CO₂排出量生産高原単位を前年度比1%削減する」の2つの目標を掲げ取り組んでいます。2016年度のCO₂排出量生産高原単位は、2013年度比94.4% (5.6%の削減)、前年度比99.6% (0.4%の削減) となりました。アルミ溶解炉の燃料転換(重油→LNG)、加工機械の運用・設備改善、コンプレッサーの効率的な利用およびエアリーク改善、照明のLED化、鋳造機保持炉の放熱防止などさまざまな省エネルギー施策を実施することで原単位の改善に努めています。



物流関連への取り組み

効率的な物流システムの構築を推進。原単位を前年度比96.7% (3.3%削減)。

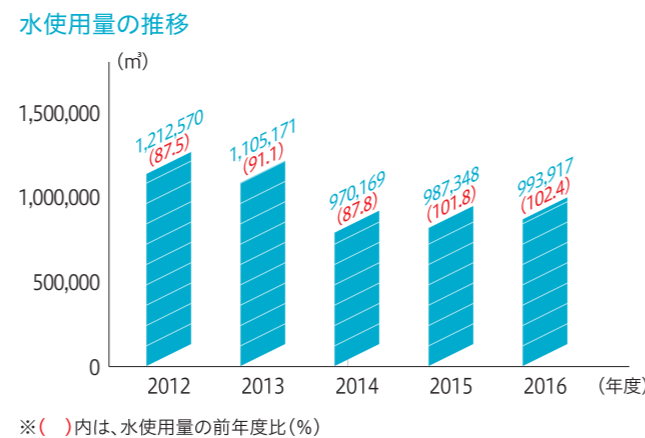
エネルギー使用の合理化を推進することを目的とし、貨物輸送に関するエネルギー(燃料)の使用量の削減、効率的な物流システムの構築を進めています。2016年度の貨物輸送に関するエネルギーの使用量は、原油換算値で4,077kℓとなり、2015年度より50kℓ減少しました。また、1tの貨物を1km運搬するのに要する原油量(原単位)も、3.3%減少しました。2017年度も、荷姿を縮小し一度に運搬する個数を増やしたり、生産をお得意様に近い工場へ移管することで輸送距離を短くすることによる輸送効率化などに取り組んでいきます。



水資源の効率利用への取り組み

水使用量は、前年度比102.4% (2.4%増加)。

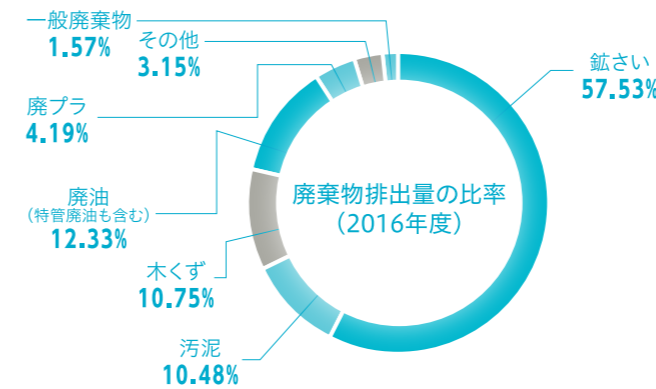
2016年度の水使用量は約994千m³となり、前年度で2.4%増加となりました。今後は、工業用水の循環利用や流量計確認による漏水への早期処置対応など、使用量を適切に管理することで使用量の削減に取り組んでいきます。



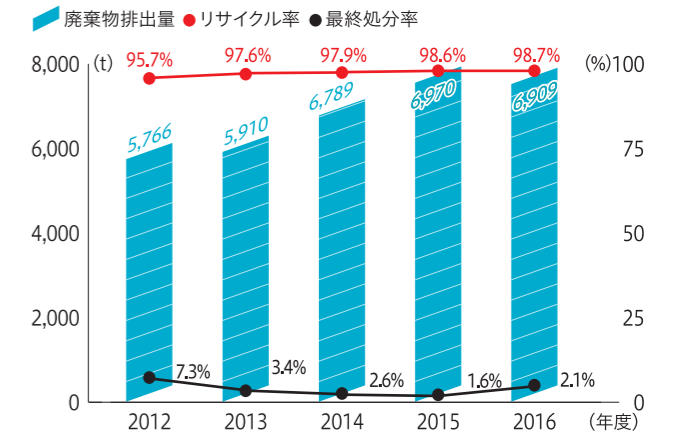
廃棄物への取り組み

埋め立て処理が必要な廃棄物の排出量を削減。リサイクル率98.7%、最終処分率2.1%。

2016年度の廃棄物排出量は6,909tで、前年度比で約0.8%減少しました。廃棄物の分別徹底により埋め立て処理される廃棄物の排出量を減らすことで、リサイクル率は98.7%、最終処分率は2.1%となりました。



廃棄物排出量の推移



$$\text{リサイクル率} = \frac{\text{C再資源化量}}{\text{A廃棄物排出量} + \text{B有価物量}}$$

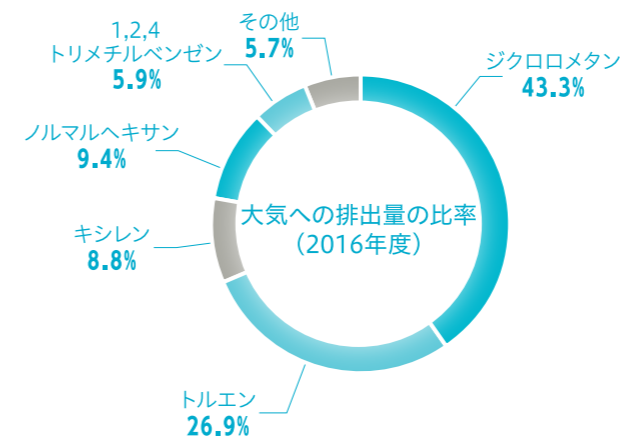
$$\text{最終処分率} = \frac{\text{D最終処分量}}{\text{A廃棄物排出量}}$$

A 廃棄物排出量 B 有価物量
 C 再資源化量 (リサイクルされた廃棄物・有価物)
 D 最終処分量 (中間処理)

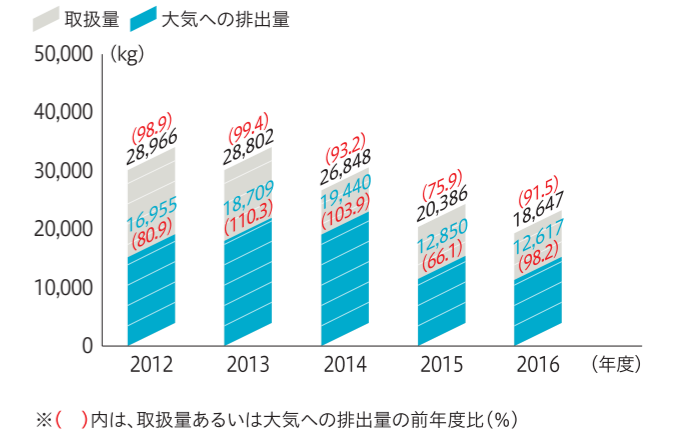
有害物質への取り組み

有害物質の大気中への排出量は、前年度比98.2% (1.8%削減)。

2016年度のP R T R法対象化学物質の取扱量は約19t、大気中への排出量は約13tとなりました。取扱量は前年度比91.5% (8.5%削減)、大気中への排出量は前年度比98.2% (1.8%削減) となりました。



PRTR法対象化学物質排出量の推移



PCB(ポリ塩化ビフェニル)の管理

法規制を順守し、PCB廃棄物を適切に保管、管理。

リョービグループで保管しているPCB廃棄物(高圧コンデンサ、蛍光灯安定器など)の2017年5月現在の保管数は13台です。外部への流出防止など、法規制を順守し、適切に保管、管理しています。

Corporate Profile

概要(2017年3月31日現在)

社 名 : リョービ株式会社
創 立 年 月 日 : 1943年(昭和18年)12月16日
資 本 金 : 18,472百万円
社 員 数 : リョービ/1,749名 リョービグループ/8,915名
主 要 商 品 : ダイカスト製品
 パワーツール(電動工具、園芸用機器等)
 建築用品(ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等)
 印刷機器(オフセット印刷機、印刷周辺機器等)

国内グループ会社

- リョービミラサカ株式会社
- リョービミツギ株式会社
- 株式会社東京軽合金製作所
- 生野株式会社
- リョービ販売株式会社
- リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
- 旭産業株式会社
- リョービ開発株式会社

海外グループ会社

- リョービダイカスティング(USA), INC.
- アールディシーエム, S. DE R.L. DE C.V.
- リョービアルミニウムキャスト(UK), LIMITED
- 利優比压铸(大連)有限公司
- 利優比压铸(常州)有限公司
- リョービダイカスティング(タイランド)CO., LTD.
- 利佑比(上海)商貿有限公司
- 利優比(大連)機器有限公司

リョービの環境・社会貢献活動のあゆみ

1990年	9月11	リョービ環境保全委員会設立 芦田川クリーン作戦開始(広島県府中市地区)、以降継続
1991	2	アルミ缶回収運動開始(広島県府中市地区)、以降継続
1998	11	グラフィックシステム本部(現、リョービMHIグラフィックテクノロジー株)がISO 14001認証取得
2000	5月11	本社がISO 14001認証取得 静岡工場、リョービミラサカ株がISO 14001認証取得
2001	5月11	リョービミツギ株、リョービ開発株がISO 14001認証取得 生野株がISO 14001認証取得
2002	5月11	東京支社、大阪支店がISO 14001認証取得 株東京軽合金製作所、名古屋営業所がISO 14001認証取得
2003	9月11	リョービグループ環境報告書発行、以降継続 リョービ株創立60周年記念行事(事業所周辺の清掃、植林等)
2004	7月9日10	NPO法人リョービ社会貢献基金設立(以下、NPO法人) NPO法人設立記念事業(11地域社会福祉協議会へ物品寄贈、以降継続) 新潟県中越地震の被災地や被災者へ義援金とリョービ商品を寄贈(NPO法人)
2005	7	環境省の地球温暖化防止国民運動「チームマイナス6%」へ参加
2006	3	ボランティア6団体へ活動資金を助成、以降継続(NPO法人)
2007	6月7	環境省の「ブラックイルミネーション2007」へ参加 新潟県中越沖地震の被災地や被災者へ義援金を寄贈(NPO法人)
2009	7	環境省の「セタライトダウン」へ参加
2010	7	環境省の「チャレンジ25」へ参加
2011	3	東北地方太平洋沖地震の被災地や被災者へ義援金と 救援物資を寄贈
2013	11	リョービ株創立70周年記念行事(事業所周辺の清掃等)
2016	12	環境マネジメントシステムISO 14001:2015の認証を取得(移行)

この環境データ集に関するお問い合わせは

リョービ株式会社 人事・総務部 安全環境課 〒726-8628 広島県府中市目崎町762
TEL/0847-41-1309 FAX/0847-43-6111 e-mail/kankyo@ryobi-group.co.jp

RYOBI リョービ株式会社

本 社 〒726-8628 広島県府中市目崎町762
Tel.(0847)-41-1111
東京支社 〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8
Tel.(03)-3927-5541

<http://www.ryobi-group.co.jp/>



ISO 14001認証取得

本環境データ集は、再生紙を使用し、リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社が製造する印刷機で印刷しています。無断複製・転載等を禁止します。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。